



みちくさ

2016. 4. 26 No. 22

授業参観・P総会・懇談会

先週土曜日の授業参観や PTA 総会、懇談会に、多くの保護者の皆様に週休日にもかかわらずご参加いただきました。PTA 総会では体育館に用意したパイプ椅子がほぼ満席でしたし、その後の学年・学級懇談会でも、熱心な話し合いがされました。改めて、保護者の皆様の教育への関心の高さに、感謝申し上げます。今後もよろしくお願ひしたいと思います。

今年は、家庭訪問については戸口での訪問とし、自宅確認程度で済ませますので、その分子どもさんのことについては、夏季休業中の個人面談で時間をとり、話し合いをさせていただきます。ただ、ご心配なことなどはいつでもご相談いただければ時間をとりますので、よろしくお願ひします。

丸森に思いを馳せる

はじめて校長職に就いたのは、平成 18 年でしたので、もう 10 年も前になります。場所は丸森の耕野小学校とって、へき地 2 級の学校でした。宮城県の教員は、仙台市出身なら一度は市外で勤務経験をしていないといけないといったルールがあるようです。県外から入ってきた私はずっと教員時代には仙台で勤務しておりましたから、一度は別の場所で経験を積むだろうとは覚悟しておりました。

亘理町にも「高屋小」という学校がありますが、耕野小は福島との県境、高速道路では国見サービスエリアへ向かって登っていく途中の左側の山を越えたあたりにあります。

赴任当時、全校児童は 27 名でした。完全複式学級とって、低・中・高の 3 クラス体制で授業を行います。複式とってのは 2 つ以上の学年が一つのクラスの中で勉強します。つまり、一人の教師が直接指導と間接指導の組み合わせで、1 時間の中で 2 つの学年の指導をするのです。もちろん私は経験したことはありませんでした。1 時間の中で、上手に指導の段階をずらし、例えば、最初に 6 年生に復習の問題を解かせておいて、その間に 5 年生には新規の事項を教えるといった具合に、1 時間の中でうまく指導の段階をずらすのです。正式に「ずらし」とか「わたり」とっての表現で、学習指導案には表記します。



最初に赴任したとき、あまりのギャップに驚いたことがたくさんありました。まず耕野地区は上水道がないのです。学校はもちろん、全戸で井戸を掘ってそれをポンプでくみ上げて利用しています。また、プールについては、プール脇を流れている小川から水を取り入れて使用しているのです。ちょうど、岩手宮城内陸地震が赴任して 3 年目に起きました。そうしたら、地下で水脈が変わってしまったのか、井戸水が涸れてしまい、新たに井戸を掘り直すということも経験しました。またプ

ールのシーズンが終わった後、大雨で小川が氾濫し、プールに溢れたことがありました。翌年の春にプール掃除のため水を抜いてみると、大量のザリガニが生息していて、これもまたびっくりでした。

ほぼ山間地ですから、自然だけは豊かです。朝の通勤途中にリスを見かけたりしたこともありますし、いきなり藪からカモシカが飛び出したりしたこともありました。野生の猿が授業中に裏山から集団でやってきて、校庭を横切っていったこともあります。熊には遭いませんでしたが、イノシシはけっこう出ていたようでした。今ぐらいの季節には、ウグイスの鳴き声が響いていると思います。

耕野の名産としてはタケノコと干し柿がありました。5月の連休に、タケノコ祭りのようなものがあり、休み中に子どもたちが太鼓の演奏にかり出されます。タケノコ組合で主催しているのですが、お客さんにタケノコづくしのお膳を出すので、シーズン前に、お膳の料理をつくる練習を兼ね、小学生が招待され、ごちそうになります。(校長は太鼓はたたきませんが、ごちそうだけはいただきました)その時に竹水(ちくすい)といって不思議なものをいただきました。竹はご存じの通り、伸びるときには1日で1メートルも伸びるときがあるとか。伸び盛りの竹の先端を切ると、地下から吸い上げた水が竹の中に溜まります。それを大きな冷蔵庫に冷やして、節を割ってその水を飲むのです。普通の水のはずですが、体に染み渡るような感覚を得ました。

耕野には3年間お世話になりました。冬は雪も多く、通勤は大変でしたが、そこで暮らしている人たちは本当に温かく、地域の学校を本当に大事にしてくれていました。丸森町で中学校は統合して中心部の1校になってしまいましたが、小学校はまだそのまま存続しているようです。

ご存じの通り、丸森町は、東日本大震災の折り、福島第1原発の影響で、線量が高い地域になってしまいました。早々と東北大の協力を得て、校庭の土を除染したと聞いております。しばらくはタケノコの出荷も見合わせていたようですが、先日TVのニュースでもう大丈夫なような報道がされておりました。

震災後に自転車で丸森町を走りました。学校にも寄ってみました。校庭にモニタリングポストが設置され、全教室にエアコンが取り付けられるなど、まだまだいろいろ悩ましい状況なのかなと思います。私が居た当時は、町おこしも盛んで、東京からの小学生も参加し、学校の子どもたちと一緒に田植えや稲刈りをしたこともありました。児童数も少しずつ増えつつあったのですが、今年は児童数も一桁になってしまったようです。



何らかの形で仙台から応援できないかなと思っています。タケノコも干し柿も美味しいです。蜂蜜をやっている農家の方もおり、この蜂蜜を食べたら、もう他のは無理だと思うくらいです。

10月には丸森サイクルフェスタという催し物があるので、体調が良ければ、今年は参加したいなと思っています。